



社会福祉法人太陽会広報誌

OHANA

Quality of Lifeへの貢献

2008
vol.26

夏号

OHANA

夏号

2008
vol.26

発行責任者/太陽会副理事長 木村幸夫
発行担当者/広報委員:河本・出口・野澤・三浦・御子神・三宮・川上
印刷・編集協力/鶴ノラサザ印刷

社会福祉法人

太陽会

T296-0124 千葉県鴨川市大幡1222-1
TEL 04(7098)1000 FAX 04(7098)1002



たのび利用者 渡辺様作

暮れて河原に
星一つ
宵待草の
花の露
更けては風も
泣くそうな

＜安房地域医療センター 4月から経営開始＞

- まんぼう.....味覚との出会い
- しあわせの里.....しあわせ農園完成
- たいよう.....つりクラブ発足
- らんまん.....訓練棟は今日もにぎやか
- めぐみの里.....思い出に残る花見は...?

オハナBOX
長狭米、あれこれ
みんなの広場
らんまんスポーツクラブ

オハナBOX

鴨川の台所

太陽会がある千葉県鴨川市には、美味しい海の幸や山の幸がたくさんあります。太陽会の施設で生活されている多くのご利用者は、農家の方や漁師の方が大半を占めており、その方達の、真心がこもった農作物や魚介類を食べて、私達は成長してきました。鴨川市の特産品を福祉の角度から紹介したいと思い『鴨川の台所』として特集してみようと思います。

☆長狭米☆☆



鴨川市大幡地区の近辺には、都心から最も近い棚田（大山千枚田）があります。子供の頃から食べ慣れたお米。おじいちゃん・おばあちゃんの知恵袋を用いて『長狭米』の美味しい秘密を、お教えします。

※長狭米は、長狭米じゃない？

品種『コシヒカリ』を長狭地区で作っていることから『長狭米』というブランドが生まれました。明治4年、明治天皇への献上米として取り上げられ、全国的に有名となりました。

※なぜ美味しいの？

農家を経験してきた方達の話しによると、粘土質の土壌と嶺岡山から流れる、澄んだ水が美味しさを引き立てると挙げています。綺麗な水でしか生息できないのも6月頃から至るところで飛んでいます。しかし、美味しさの一番の理由は、一粒一粒を丹精こめて作っていることが最大の秘訣なのではないでしょうか。

食欲の秋となり、新米の季節もすぐそばまで近づいています。

農家の方達の思いを汲み取ることで、美味しいご飯も、更に美味しく感じると思っています。

この記事を活用して食卓も明るくならせたいと思います。

6月16日撮影



美味しくなるのを心待ちにしています！

お知らせ...

太陽会大納涼祭!!

・8月2日(土) 6時より

駐車場に限りがあります。乗り合いにてお願い致します。

◎今年も、花火や出店のサービスでお待ちしています。



中核地域生活支援センター

ひだまり

一人ひとりの状況にあった福祉の総合業務を行っています。どうぞ、お気軽にお電話下さい。

《お問い合わせは...》

☎ 04(7098)2900
hidamari@i-hidamari.com
http://www.i-hidamari.com

「みんなの広場」

らんまん
スポーツクラブ



ご利用者の作品や同好会・クラブ活動等を発表するコーナーです。

開設当初から10年の歴史があり、地元のマラソン大会、障害者スポーツ大会にて好成績を残してきた、らんまんスポーツクラブです。

全国大会（立ち幅跳び）に何度も出場したアスリートもいるぞ。



今年も太陽会のタイムリーな話題をお伝えできるように、広報委員一同がんばってまいります。

編集後記

社会福祉法人 太陽会の使命 Quality of lifeへの貢献

私たちは、全ての人々の幸福に貢献するために、常に愛とホスピタリティーの心を大切にし、ゆとりある理想社会の創造を使命とします。

《基本理念》

- 1、ご利用者の『生命の尊厳』と『人権の尊重』を最優先します。
- 2、職員は『信頼と尊敬』の心を持ち、常に『研鑽と人間的成長』に努めます。
- 3、ご利用者との『相互理解』を深め、『信頼と共生』を価値観とします。
- 4、地域社会への『参加』と地域福祉への『貢献』を奨励します。

安房地域医療センター 4月から経営開始

経営難に陥った安房医師会病院が、太陽会に経営移譲され、4月から新たに「安房地域医療センター」として運営が開始されました。旧安房医師会病院からのスタッフのほとんどがそのまま残り、地域医療の崩壊を食い止めるという使命のもと、職員一丸となり取り組んでいます。



今回の経営移譲により、病院閉鎖という最悪のシナリオだけは避けることができたこと、何よりも、地域医療を支えるために灯し続けた「病院機能」という灯を消さずに済んだことに大きな意味があるといえます。

もちろん、医療面は亀田メディカルセンターが全面的にバックアップ体制を敷いております。引き受けたからには亀田グループの名にかけて、安房地域の皆様方に「移譲先が亀田グループで本当に良かった」と思っていただけのように頑張るしか道はありません。

安房地域医療センターの緊急課題は看護師確保。看護師さんを紹介してください。お心当たりのある方、是非ともご連絡ください。《安房地域医療センター》

☎0470-2515111

特別養護老人ホーム めぐみの里

思い出に残る花見はありますか？



千葉県安房郡鋸南町にある佐久間ダム湖。地域住民の方の『綺麗にしたい。』との熱い思いから、桜の木を植え、現在では、千葉県屈指の桜の名所になっている。

- ・9月中旬：彼岸花
- ・12月～3月：水仙
- ・2月：紅梅・白梅



一千本のソメイヨシノや頼朝桜が見頃を迎えた佐久間ダムへ、花見外出をした。佐久間ダムにある休憩所であの花見弁当を食べた。

いつもの生活とは違った雰囲気の中で、桜を見ながら食事を摂る。多くのご利用者から『外で食べるご飯は美味しい。』『さ、うわあ、桜が綺麗

多くのご利用者は、一回の外出で、生活が変わる程の楽しみがある。私達が私生活で何気なく企画している一回の外出を大切に、楽しませてあげたい。



Aさん。花見外出の話しをきっかけに『行きたい。』との強い気持ちから、顔の表情に少しずつ活気がみられ食欲を増していった。体力面の問題で、1時間程しか過ごせなかったが、終始笑顔がみられていた。

憩い癒しある環境を目指して

平成20年5月からデイサービスはリニューアルオープンをした。大幡の山々が望め、四季の移り変わりを感ぜられる開放的なリビングや、デイサービスが利用する浴室も改修した。



また、新しい職員も加わり、今まで以上に満足できるサービスの提供に、努めている。

《のんびり瓦版》という情報誌を作成し、ご利用者やご家族に配布して、コミュニケーションも大切にしている。

ご利用者がより過ごしやすい環境を目指して、これからも笑顔と安心を届けていきたい。



より安全、快適に

めぐみの里では、老朽化に伴い、浴室と脱衣室の改修工事を行いました。明るく、きれいになったお風呂で、安全、快適に、より充実した入浴サービスを提供できるようにしました。当事業は、競輪・オートレースの売上金による財団法人車両競技公益資金記念財団の助成により実施されました。ありがとうございました。



日本財団福祉車両助成事業により、地域の方々へのサービスの充実を目的として、車両を整備しました。今後は、有効かつ大切に使用させていただきます。



日本財団福祉車両助成事業めぐみの里訪問介護の車輛
ありがとうございました

スイーツサプライズ



めぐみの里には、パティシエ(ケーキ職人)がいる。多くのご利用者に『美味しいケーキを食べてもらいたい。』との栄養士の強い思いから、ご利用者の目の前で、ケーキを作った。ケーキ作りに馴染みの少ないご利用者には、パティシエの動き一つひとつが新鮮で、デコレーションされていくケーキに釘付けになっていた。多くのご利用者から太鼓判を頂いたこの企画。次はどんな企画で、ご利用者を驚かせようかと職員の刺激にも繋がった。

あなたの力になりたい

めぐみの里では、在宅介護のお手伝いを行っています。ご利用に関する相談や在宅介護に関する心配ごと、悩み以外にも介護保険・健康・福祉・医療に関することなど何でもご相談下さい。

☎04(709)810000 (担当) 鈴木

知的障害者授産施設 らんまん

女性軍にバトンタッチ！
自活訓練は今日もにぎやか

地域社会の中で、自分たちの生活を充実させ地域に根ざした生活を送る。これはあたり前の事であるが、なかなか難しい事である。



る。そこへ一人の利用者が「喧嘩しないで仲良くしなよ。」との一言で喧嘩も終結。今では施設生活でも見られなくなった仲間意識も徐々に現れるようになった。最近では玄関に入るとスリッパを揃えて出してくれる女性らしい細やかな心配りが見られるようになった。

この訓練棟を巣立つ日には一人前の社会人としての自覚や将来、地域で暮らす生活力と合わせ、社会性も身に付けていく。暖かく見守って下さい。

就労実習・施設外作業 自立に向けて頑張っています。

「行って来ます」と今日も元気な挨拶が聞こえる。職場実習も今年で早3年目を向かえ、今は7事業所となる。地域での自立には就労は重要な課題となり、①施設作業 ②施設外作業、③職場体験、④職場実習と段階的な支援を行っている。施設外作業では市内のホテルの浴場清掃を前年度より開始した。

施設外の実習、作業には仕事内容の習得の他、社会人としてのマナーが必要となる為、身だしなみや日頃の挨拶等の訓練の成果



★ボランティア募集中！
施設内作業、行事等のお手伝いをしてみませんか？

おいつランチに舌鼓
グループ行事(外食)美味しい食事を楽しみながら…。また、社会人としてのテーブルマナーも学習。普段と違う食事に始めは皆、緊張する。フォークとナイフにも悪戦苦闘したが、最後のデザートまでペロリ…。お腹も満腹となり、大満足。

が發揮される場としても良い機会となる。

また、職場実習の見学・体験学習では交通ルールも含めた基本的な勉強会も実施した。今後も様々な経験を積み重ね、地域で生活できるよう、支援する。皆様の暖かいご協力をお願いいたします。

ケアハウス まんぼう 味覚との出会い

美味と人情のおもてなし

5月10日
千葉県大多喜町平沢にある「民宿ひらさわ」へたけのこ料理を食べに行きました。



大多喜町は、県内有数のたけのこの産地で、中でも平沢地域は、美味しいたけのこが採れることで知られている。

朝10時にまんぼうを出発し、「民宿ひらさわ」へ着いたのは、すでにお昼近くで、丁度お腹が空いて



きた頃になっていた。「民宿ひらさわ」の周りは竹林に囲まれており、「歩くだけで気分が良くなるわ」等、昔を懐かしむかのように話されていた。

食事処に上がり、窓の外に広がる一面の竹林に見とれていると気さくな女将さんが、朝取れたばかりのたけのこや山菜で作った料理を運んできてくれた。料理はすべて手作りで女将さんや調理スタッフのぬくもりが感じられる、とても優しい味だった。

ご利用者からも「また、来たくなるようなお店だね」等、うれしい声がたくさん聞かれた。

誕生日会

まんぼうでは、その月の誕生日のご利用者を午後、食堂へお招きして誕生会を行っている。



ケーキとお茶(コーヒー)だけのおもてなしだが、ご利用者はたいへん喜んでくれている。

まんぼうの最高齢者は、97歳だが毎日趣味を楽しんだり、外出をされたりとまんぼうでの生活を満喫されている様子。

わずか30分ぐらいの誕生会だが、自分の誕生日をお祝いしてくれるのは、年をとっていてもうれしいと話されている。

らんまん 授産製品紹介コーナー

【自主生産班】
いよいよ、夏本番。涼みのビールが美味しい季節となりました。丹精込めて製作したらんまんの縁台・椅子で夕涼みはいかがですか。

●ブラウン・クリア・レッド・焼き入れの4種類からお選び下さい。

行事予定

9月・ユニット旅行
11月・ウォークラリー
12月・大山駅伝

※授産製品・ボランティア募集の：「お問い合わせ」
知的障害者授産施設
らんまん
☎04(7098)1800

季節の野菜で夏を乗り切ろう!!!

まんぼう相談員&栄養士お奨め料理の紹介です。今回は、夏のネバネバ野菜を使ったお蕎麦です。皆さんも是非お試し下さい。

◆夏そば◆

材料
・オクラ
・山芋
・なめこ
・錦糸玉子
・めかぶ
・なると
・おろし

※その他、モロヘイヤ、トマト等のせてもOKです。

行事予定

8月・夕涼み会
9月・外食デー
10月・一泊旅行
11月・外食デー
12月・外出デー

《お問い合わせ》
ケアハウス
まんぼう
☎04(7098)1331

初夏のドライブ外出

5月15日 太海フラワーセンターにドライブ外出に出掛けた。当日は曇り空でこの時季としては、肌寒い天気となった。

行きの車の中では、普段無口なご利用者も「あれが松島だよ。今日は波が高いなあ」と、外を眺めながら楽しみに話をされていた。

フラワーセンターでは温室内を散策した。満開のバラやブーゲンビリアを見て、「わあー、キレイね」といっせいに歓声があがった。

温室内は様々な植物が展示されていた。ミッキーマウスの木など、珍しい植物もあり、「こんな木もあるんだね」と驚いていた。

色とりどりのスターチスを見て、「昔はこの花は一色しかなかったよね。」と感慨深げに話をされていた。

昼食は、亀田病院のKタワー13階の亀楽亭に行った。お刺身や天ぷら、ハンバーグといった好きなメニューを自由に選んでもらった。久しぶりの外食とあってとても喜んでいました。

「鴨川はいいな。いい観光地もあるし、おいしい食べ物もあるからね。また、来だよ。」と、楽しそうに話されていたご利用者の笑顔が、とても印象的であった。

介護老人保健施設 たいよう



フラワーセンター内



鴨川フィッシャリーナにて

たいよう釣りクラブ発足

今年から、ご利用者の多様なニーズに合わせて、新たなクラブを発足させた。海と山に囲まれた地域柄、ご利用者の多くが、漁業に携わっておられ、その生活を大事にと思っておられたのが、釣りクラブである。

記念すべき第一回目の漁(?)は、5月4日に、鴨川のフィッシャリーナに行った。

流石に、ゴールデンウィークともあり、既にたくさん釣りが陣取っていた。ご利用者が、他の釣り人に、「何か釣れましたか?」と気さくに話しかけていた。

都会から来たと思われる親子連れが、「釣れたけど魚の名前がわからない。」と言つと、「ご利用者がその魚の名前を教えていた。」

時間が短かったこともあり、今回の記念すべき漁の釣果は残念ながらボーズだった。しかし、いろいろな人と会話を楽しみ、そして何よりも久しぶりに潮風に当たり、とても懐かしいと喜んでいました。

行事予定

- 8月・夕涼み会
- 9月・敬老会
- 10月・遠足
- 11月・作品展覧会・焼き芋大会
- 12月・クリスマス・餅つき大会

※お近くにお越しの際は、是非足をとお運び下さい。

※予定が変更になる場合もありますのでご了承下さい。

《お問い合わせ》

介護老人保健施設
たいよう

☎04(7093)7711

ディズニー外出



初夏の風を感じる5月、遠出外出でディズニーランドへ出発した。天気はご利用者の期待を映したかの様な快晴。夢の国で皆様の笑顔が弾けた。蒸気船に乗り、湖を渡る風に歓声をあげ、アトラクションに胸を躍らせる。「とても楽しかった」と語るご利用者の心の中には、思い出という様々な彩りが添えられたようだった。



ディズニーランドへ出発

身体障害者療護施設 しあわせの里

しあわせ農園完成



5月下旬、しあわせの里の中庭に、小さな、小さな畑ができた。暖かい風にゆらゆらとゆられ、気持ちよさそうに葉を広げて育っていく姿をいとおしく思い、皆でその成長を楽しみにしている。

ひとり、またひとり、ご利用者が食堂に集い始める。皆様のお目当ては午後のひと時にカラオケをして過ごす事だ。

始まりは、ひとりのご利用者がカラオケをしたい方の為に、リモコンを操作し、曲を入れて下さったことから。それから、集まるご利用者の得意な曲を集め、ファイナル、ご利用者同士で助け合って曲を入れて下さるようになった。いつしか午後の食堂は、大勢が



利用者がつくる しあわせの輪

行事予定

- 10月
 - ・ハーティーコンサート
- 11月8日
 - ・夢フェスタ
- 12月
 - ・餅つき

《お問い合わせ》

身体障害者療護施設
しあわせの里

☎04(7098)1110

集まるカラオケサークルへと変わり、和やかな雰囲気の中、皆様で歌を唱和する光景が毎日見かけられるようになった。嬉しい時、悲しい時、楽しい時。気持ちを歌にして仲間と時間を分かち合おう。

そこには小さいけれど、輝くような「しあわせ」があるに違いない。

◆ボランティアさん募集◆

しあわせの里ではご利用者の笑顔の手助けをしてくださる方を募集しております。

お問い合わせに関しては左記までご連絡ください。興味のある方、お待ちしております。

〈担当〉民内